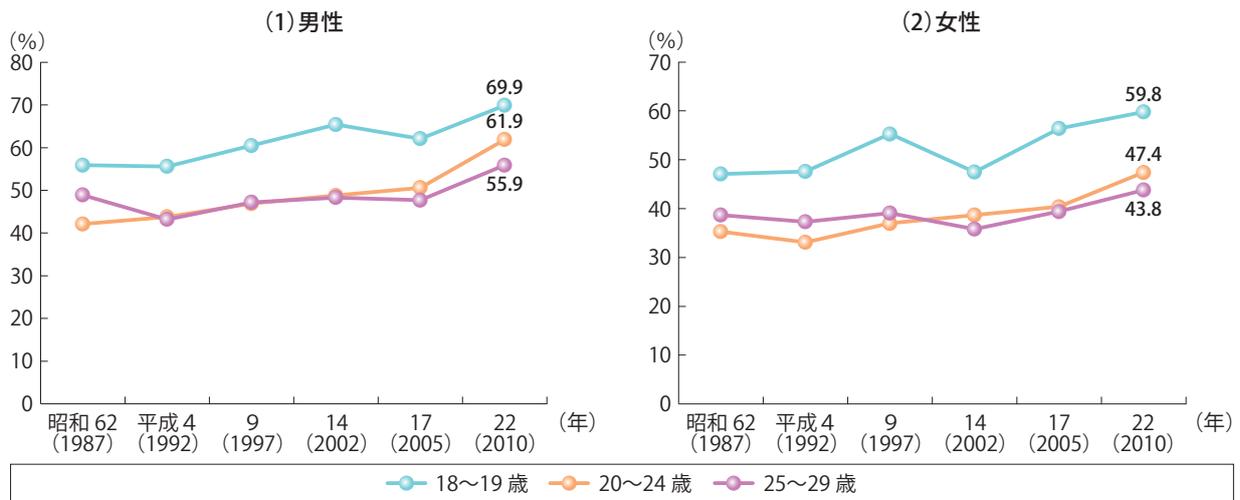


第1-6-18図 交際している異性がない未婚者の割合



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査(独身者調査)」

## 第2節 意識

### 1 幸せ感, 不安や悩み

#### (1) 幸せ感

幸せだと思う小学生・中学生・高校生等の割合は上昇。

今, 幸せだと思うかどうかの状況をみると, 小学校5~6年生, 中学生, 高校生のいずれでも幸せだと思うとする者の割合は, 平成16(2004)年と比べ平成21(2009)年は上昇している。小学校5~6年生の83.4%, 中学生の77.4%, 高校生等の71.5%が幸せだと思うとしている。(第1-6-19図)

#### (2) 不安や悩み

不安や悩みを抱えている小学生・中学生・高校生等の割合も上昇。不安や悩みの主な内容は勉強や進路。

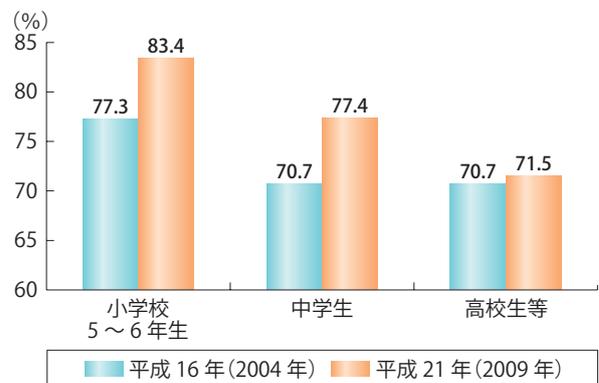
不安や悩みを抱えている小学校5~6年生, 中学生, 高校生の割合も, 平成16(2004)年と比べ平成21(2009)年は上昇している。小学校5~6年生の71.6%, 中学生の81.2%, 高校生の84.9%が何らかの不安や悩みを抱えている。不安や悩みの内容をみると, いずれの年齢層でも「勉強や進路」が最も多いが, 特に中学生と高校生でその割合が高い。(第1-6-20図)

#### (3) 大切だと思うこと

「健康であること」が最も多い。

大切なことと思うことについてみると, 小学校5~6年生では「友達がたくさんいること」が最も多く, 「健康であること」が続いている。中学生と高校生等では「健康であること」が最も多く, 次いで, 中学生では「友達がたくさんいること」が, 高校生では「将来に夢を持っていること」が多い。(第1-6-21図)

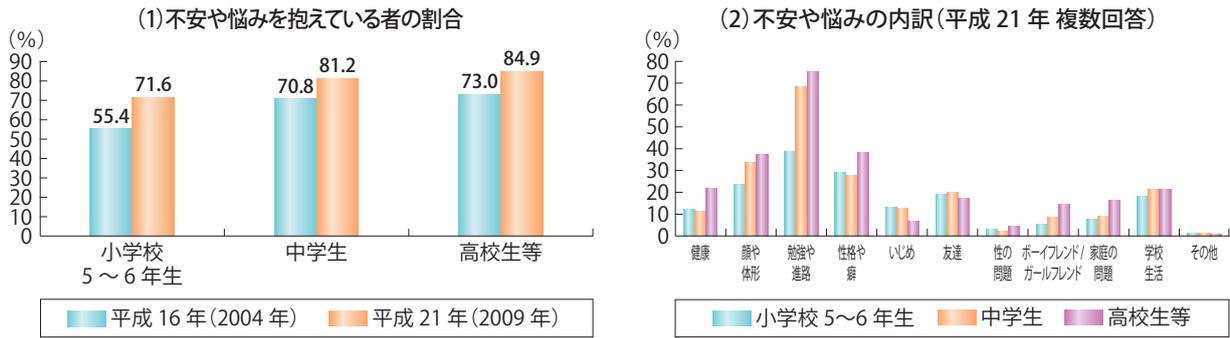
第1-6-19図 幸せ感(幸せだと思う者の割合)



(出典) 厚生労働省「全国家庭児童調査」

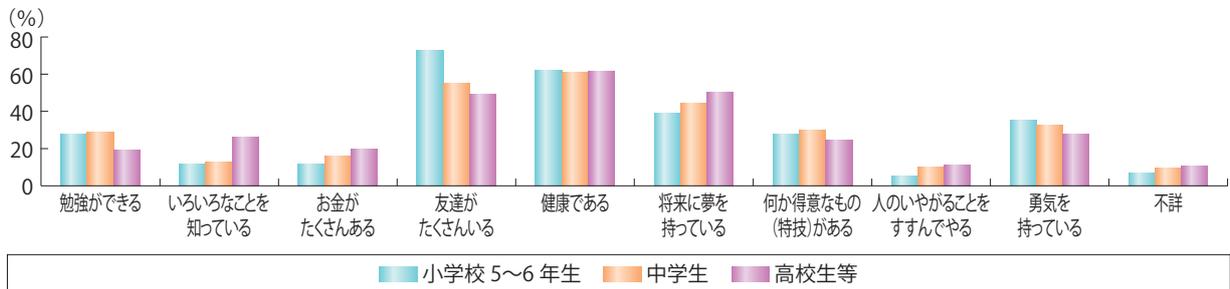
(注) 1 高校生等とは, 高校生と, 各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒の合計。  
2 ここでいう幸せだと思う者とは, 「今, 幸せだと思うか」との問いに対し「とても幸せだと思う」「やや幸せだと思う」と回答した者の合計。

第1-6-20図 不安や悩み



(出典) 厚生労働省「全国家庭児童調査」  
 (注) 高校生等とは、高校生と、各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒の合計。

第1-6-21図 大切だと思うこと(平成21年)



(出典) 厚生労働省「全国家庭児童調査」  
 (注) 1 高校生等とは、高校生と、各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒の合計。  
 2 複数回答

## 2 結婚の意思, ライフコース

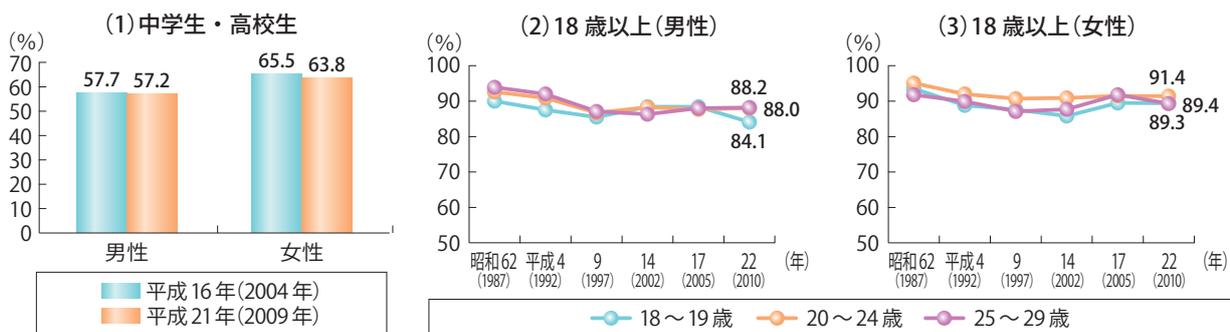
### (1) 結婚の意思

結婚する意思を持つ未婚者は9割前後で推移。男女ともに仕事と家庭の両立を望む者の割合が上昇。

結婚の意思をみると、中学生・高校生の男性の6割弱、女性の6割強が結婚をしたいと思っている。(第1-6-22図(1))

18～34歳の未婚者でいずれ結婚するつもりと考えている者の割合をみると、1980年代から2000年頃にかけて男女ともにやや低下した。2000年代に入ってからは、おおむね横ばいで推移している。男女ともいずれの年齢層でもその割合は9割前後であり、依然として高い水準にある。(第1-6-22図(2)(3))

第1-6-22図 結婚の意思のある者の割合



(出典) 厚生労働省「全国家庭児童調査」、国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査(独身者調査)」  
 (注) 1 (1) のグラフは、「将来、結婚をしたいと思っているか」との問いに対し「結婚はしたい」「結婚はしたくない」「まだわからない」の中から「結婚はしたい」を選んだ、中学生、高校生、各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒の割合。  
 2 (2) と (3) のグラフは、「いずれ結婚するつもり」「一生結婚するつもりはない」「不詳」のうち「いずれ結婚するつもり」が選択された割合。

第1部  
第1章  
第2章  
第3章  
第4章  
第5章  
第6章

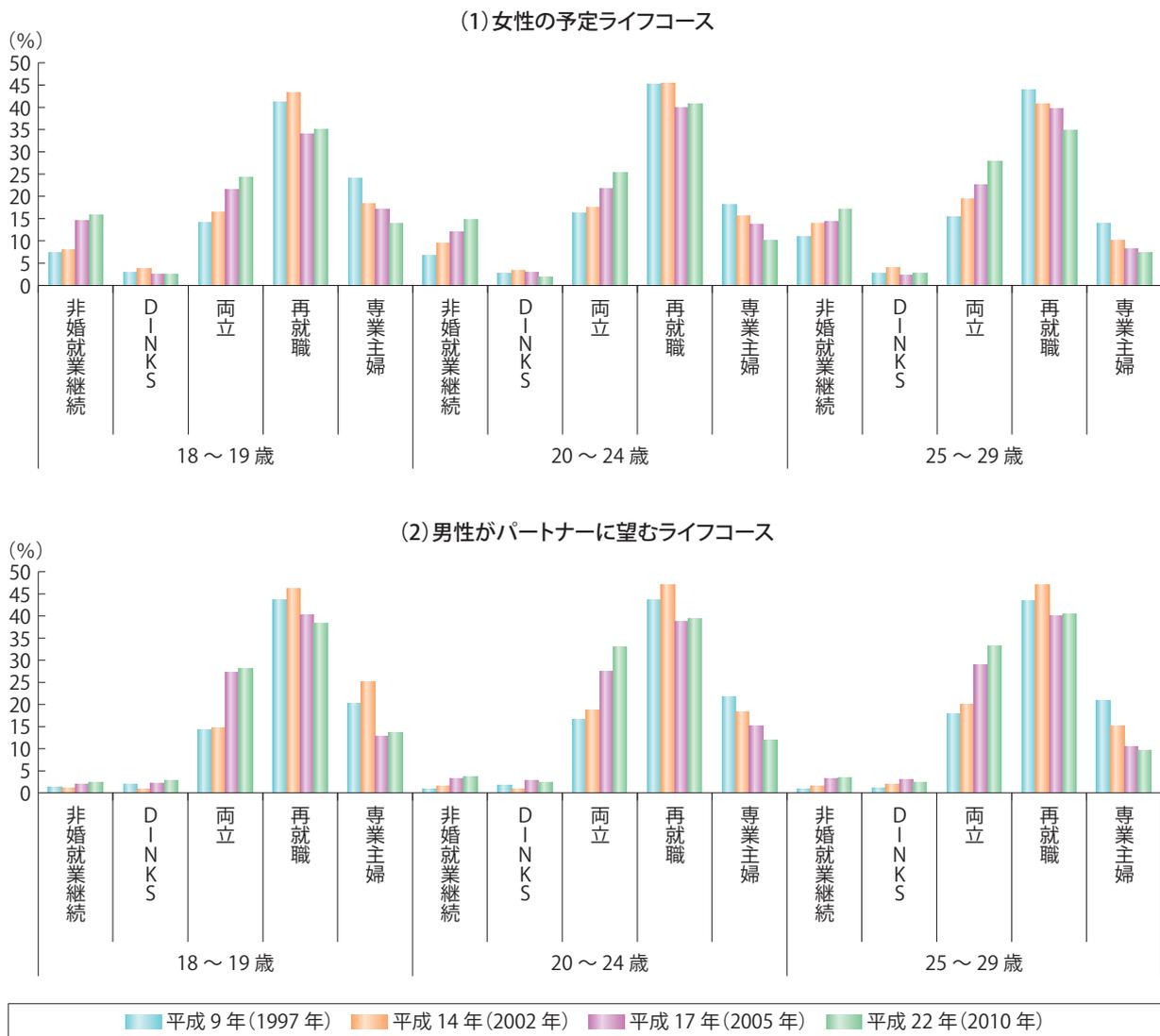
(2) ライフコースの考え方

女性が実際になりそうだと考えるライフコースも男性がパートナーに望むライフコースとともに、専業主婦の割合が低下し、両立が上昇。

未婚女性が実際になりそうだと考えるライフコース（予定ライフコース）をみると、10年前と比較して、いずれの年齢層でも、再就職（結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ）の割合が最も高いが、専業主婦や再就職といった結婚や出産の機会にいったん退職することを望む者の割合は総じて低下し、非婚就業継続や両立といった仕事を一生続けることを望む者の割合が総じて上昇している。（第1-6-23図（1））

未婚男性がパートナーとなる女性に望むライフコースでも、女性の予定ライフコースと同様に、再就職の割合が最も高いが、専業主婦や再就職を望む人の割合が総じて低下する一方、両立を望む人の割合が総じて上昇している。（第1-6-23図（2））

第1-6-23図 ライフコースの考え方



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査（独身者調査）」  
 (注) 1 女性の予定ライフコースとは、実際になりそうな人生のタイプとして選ばれたもの。理想ではない。  
 2 各ライフコースの説明は以下の通り。  
 非婚就業継続：結婚せず、仕事を一生続ける。  
 DINKS：結婚するが子どもは持たず、仕事を一生続ける。  
 両立：結婚し子どもを持つが、仕事も一生続ける。  
 再就職：結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ。  
 専業主婦：結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない。